

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 エノモト

上場取引所 東

 コード番号 6928 URL <http://www.enomoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 宏行

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

TEL 0554-62-5111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,241	3.6	102	—	159	—	110	—
25年3月期第3四半期	12,777	△4.1	△202	—	△226	—	△344	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 747百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △380百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.20	—
25年3月期第3四半期	△22.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	19,320	9,966	9,966	9,966	51.6	650.35
25年3月期	18,496	9,219	9,219	9,219	49.8	601.53

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,966百万円 25年3月期 9,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	2.4	△50	—	△10	—	△90	—	△5.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,348,407 株	25年3月期	15,348,407 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	23,612 株	25年3月期	21,665 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	15,326,276 株	25年3月期3Q	15,328,925 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年5月10日公表の連結業績予想の修正を、本日、平成26年1月31日に公表いたしました。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年以来の円高の是正や株価の上昇を背景として個人消費が底堅く推移し、企業収益の改善とともに景気の足取りが堅調に推移いたしました。一方で世界経済は、米国経済の回復傾向が継続しているものの、欧州での景気低迷の長期化、中国等の新興諸国における経済成長の鈍化等が見られ、世界経済は総じて停滞した状況が続きました。この世界経済の回復の遅れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、民生用のパソコン、テレビ、デジタルカメラ等は依然として厳しい状況が続いているものの、産業機器や自動車向けデバイス部品の需要は堅調に推移しております。

このような経営環境下において、当社グループといたしましては、製造時の歩留まり率向上を主眼とした品質改善活動や徹底した生産管理、原価管理の推進をはじめ、当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースに新規の顧客開拓を積極的に行う等、全社一丸となって業績の回復に取り組んで参りました。

その結果、第3四半期連結累計期間の売上高は132億4千1百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。また、営業利益は1億2百万円（前年同四半期は営業損失2億2百万円）、経常利益1億5千9百万円（前年同四半期は経常損失2億2千6百万円）、四半期純利益は1億1千万円（前年同四半期は四半期純損失3億4千4百万円）となりました。

製品群別の業績は、次のとおりであります。

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。市場鈍化の影響から、総じて民生用機器向けの電子部品の需要が伸び悩んでおりますが、各自動車メーカーが増産傾向にあることやカーエレクトロニクス化の進展を背景に自動車向けデバイス用部品等の需要が堅調に増加しております。その結果、当製品群の売上高は44億7百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。台湾・中国メーカーの台頭による国際市場での競争激化を背景にLEDの供給過剰状態が続いていることから、前期後半より国内の主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが続いておりましたが、一部の自動車用及びバックライト・ディスプレイ用についての需要は増加傾向にあります。その結果、当製品群の売上高は30億3千4百万円（同5.6%増）となりました。

③ コネクタ用部品

当製品群は、携帯電話・スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。スマートフォンやタブレット型端末等のアイテムを中心に急拡大して参りましたが、ハイエンド市場の成熟により、過熱した状況が解消されつつあることから主要ユーザーを中心に生産調整が続いております。しかしながら、自動車用のコネクタにつきましては、第3四半期以降受注件数が増加してきております。その結果、当製品群の売上高は52億6百万円（同3.5%減）となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は5億9千3百万円（同6.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ8億2千4百万円増加し、193億2千万円となりました。流動資産は、現預金及び売掛債権の増加により前期に比べ11億8千1百万円増加の81億8百万円となり、固定資産は投資その他の資産の減少により前期に比べ3億5千7百万円減少の112億1千2百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ7千7百万円増加し、93億5千4百万円となりました。これは主に仕入債務の増加及び役員退職慰労引当金の減少によるものです。

また、純資産は為替換算調整勘定の増加により99億6千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は51.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,564	2,165,987
受取手形及び売掛金	3,248,996	3,500,471
商品及び製品	476,331	501,722
仕掛品	905,312	915,102
原材料及び貯蔵品	798,984	799,394
繰延税金資産	104,658	99,033
未収入金	90,499	87,813
その他	43,667	40,444
貸倒引当金	△1,625	△1,686
流動資産合計	6,926,390	8,108,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,371,597	9,602,019
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,309,382	△6,529,894
建物及び構築物（純額）	3,062,214	3,072,124
機械装置及び運搬具	12,291,954	12,412,208
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,993,855	△9,165,089
機械装置及び運搬具（純額）	3,298,098	3,247,119
工具、器具及び備品	4,156,967	3,615,880
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,821,571	△3,266,177
工具、器具及び備品（純額）	335,395	349,702
土地	3,454,451	3,433,326
建設仮勘定	9,909	45,053
有形固定資産合計	10,160,070	10,147,326
無形固定資産		
132,644	132,644	132,676
投資その他の資産		
投資有価証券	499,815	560,259
前払年金費用	156,852	143,466
繰延税金資産	10,540	12,200
その他	642,895	249,115
貸倒引当金	△32,700	△32,700
投資その他の資産合計	1,277,404	932,342
固定資産合計	11,570,118	11,212,346
資産合計	18,496,509	19,320,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,439,845	3,901,292
短期借入金	2,104,940	2,609,526
未払法人税等	49,509	51,223
未払消費税等	26,469	30,385
賞与引当金	173,000	81,000
その他	770,433	894,757
流動負債合計	6,564,197	7,568,184
固定負債		
社債	120,000	60,000
長期借入金	1,093,000	778,180
繰延税金負債	147,968	86,031
退職給付引当金	70,322	88,999
役員退職慰労引当金	720,900	231,600
リース債務	87,375	67,884
再評価に係る繰延税金負債	473,324	473,324
固定負債合計	2,712,890	1,786,019
負債合計	9,277,087	9,354,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149,472	4,149,472
資本剰余金	4,459,862	4,459,862
利益剰余金	1,688,660	1,798,961
自己株式	△8,876	△9,254
株主資本合計	10,289,119	10,399,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,641	66,791
土地再評価差額金	△277,431	△277,431
為替換算調整勘定	△823,906	△221,974
その他の包括利益累計額合計	△1,069,697	△432,614
純資産合計	9,219,421	9,966,426
負債純資産合計	18,496,509	19,320,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	12,777,726	13,241,225
売上原価	11,655,577	11,835,851
売上総利益	1,122,149	1,405,373
販売費及び一般管理費	1,325,031	1,302,462
営業利益又は営業損失(△)	△202,882	102,911
営業外収益		
受取利息	532	5,769
受取配当金	3,957	4,164
受取賃貸料	51,368	51,839
受取保険金	4,668	66,086
助成金収入	—	17,356
その他	6,831	10,132
営業外収益合計	67,358	155,349
営業外費用		
支払利息	24,175	36,230
債権売却損	14,567	9,859
租税公課	23,452	24,994
為替差損	4,168	8,934
その他	24,173	18,918
営業外費用合計	90,537	98,936
経常利益又は経常損失(△)	△226,061	159,324
特別利益		
固定資産売却益	7,604	27,206
特別利益合計	7,604	27,206
特別損失		
固定資産売却損	11,897	12,073
固定資産除却損	29,874	10,509
投資有価証券評価損	6,733	2,434
特別損失合計	48,504	25,017
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△266,961	161,513
法人税、住民税及び事業税	45,538	127,944
法人税等調整額	31,826	△76,731
法人税等合計	77,364	51,212
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△344,326	110,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△344,326	110,300

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△344,326	110,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,487	35,150
為替換算調整勘定	△34,739	601,932
その他の包括利益合計	△36,227	637,082
四半期包括利益	△380,553	747,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△380,553	747,383
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。